

〔第三回 日本言語文化学会発表要旨〕

日本語学習者の談話の展開

－ストーリーテリングによる調査の中間報告－

渡邊 亜子

(91.12.14発表)

I はじめに

日本語学習において、中・上級レベルに達すると、文と文を積み重ねたまとまりのある発話能力が要求され、さらにその発話をひとつの流れのある話に形成し発展させていく表現能力が求められる。大学および大学院在学中の留学生の発話を観察すると、形容詞・動詞の活用や助詞および語彙の習得は進んでいるが、接続成分を適確に使って談話を展開させるにはいたっていないようである。そこで、大学および大学院在学中の日本語学習者がどのように文を展開させているのかをみるため、接続成分を中心とした談話展開の実態調査を、屈折語の独語話者、膠着語の韓国語話者、そして孤立語の中国語話者、3言語の話者を被験者とし、さらにそれぞれの話者の日本語を日本語話者と比較するために日本語母語話者も被験者としておこなった。

II 調査方法

被験者は、中国語話者5名（男）、韓国語話者5名（男）、独語話者2名（男1女1）、および日本語話者5名（男2・女3）である。（91.12.14.現在）調査は、1991年10月におこなった。内容の展開が順接・逆接になる4コマ漫画を用意し、日本語話者1名（女）、来日1年目の日本語学習者1名（韓国語話者女）および来日2年目の大学在学中の日本語学習者1名（韓国語話者 男）による予備調査をおこない、語彙のむずかしいもの、内容のわかりにくいものをのぞいた。この予備調査のさい、日本語および母語によるストーリーテリング 1枚にかかる時間をわりだし、調査に使用する漫画を14種類にしぼった。調査は、約1時間半の個別面接方式でおこない、被験者の発話を録音しデータとした。まず、日本語による漫画のストーリーテリングをおこない、その後30分ほど日本語学習歴に関する質問をおこなった。これは被験者個人の日本語学習に関する情報

を得ることと、次ぎの母語によるストーリーテリングへ日本語の発話が影響を与えることをさけることを目的としたものである。最後に母語による漫画のストーリーテリングの発話を収集した。日本語話者のデータも同様に収集した。

Ⅲ 考察

1. 談話展開における接続成分

日本語話者のストーリー展開の方法は、4コマのストーリーを終わりまで切らずに接続助詞の「て」をもちいていく傾向がつよく、また、途中で文を切った場合はかならず次ぎの文の頭に接続成分をつかって順接・逆説を明確にあらわしている。一方学習者は、韓国語話者が接続助詞「て」をもちいて展開させる傾向があり、日本語話者の使用総数の約5割である。中国語話者・独語話者の使用接続助詞「て」の総数は日本語話者の使用数の約3割であった。また、中国語話者と独語話者はストーリーの途中で文をいったん終わらせるとき、つなぎのための接続成分をつかわずに次の新しい文をはじめるため、ひとつひとつの文が前の文とつながらず切れてしまう傾向がみられた。

2. 展開の軸(スポットのあてかた)

日本語話者のストーリーの展開のさせかたは、登場人物のあるひとりにスポットをあて、受身表現や補助動詞「～てあげる」「～てもらう」「～てくれる」などの表現をもちいる傾向がつよく、その結果ひとりの人物の立場にたった結束性のある展開になっている。一方学習者の日本語は、ひとりの登場人物にスポットをあてず、また受身表現などももちいないため客観的にきこえる表現になる傾向がある。日本語学習者の日本語によるストーリーテリングと母語によるものとを対照すると、展開のさいのスポットのあてかたにおいて近似が認められ、日本語による展開のさいに母語の展開のしかたが影響しているのではないかと考えられる。

Ⅳ まとめ

来日1～3年の日本語学習者の談話の展開のさせかたは、日本語話者のそれとはかなりことになっている。それはたんに接続成分が適切につかわれていないということだけが原因ではなく、3言語話者の母語においての談話展開のしかたと日本語におけるそれとの違いからくることにかかわる問題と考えられる。今後

は接続成分と展開のさいのスポットのあてかたの問題を母語との関係からあきらかにし、日本語学習者の談話展開の諸相をとらえたい。

《参考文献》

相原 林司 1987「接続語句と文章の展開」『日本語学』9月号 Vol.6 明治書院

加藤 英司 1984「接続詞・接続助詞の使用頻度と日本語能力との関係」53号
日本語教育学会

西原 鈴子 1990「日英対照修辞法」『日本語教育』72号 日本語教育学会

水谷 信子 1980「中・上級の話しことば教育」『中・上級の教授法』
国立国語研究所

畠 弘巳 1985「接続詞と文章の展開」『日本語教育』56号
日本語教育学会

Tamas Varadi.1983. "Strategies of target language communication."

in C.Faerch and G.Kasper(ed.)Strategies in Interlanguage Communication. Longman.

Hans W.Dechert.1983. "How a story is done in a second language."

in C.Faerch and G.Kasper(ed.)Strategies in Interlanguage Communication. Longman.

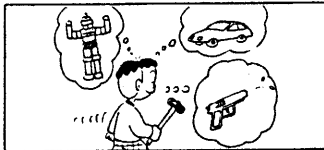
《資料》

日本語話者(25才 男性)

おとこのこが あのう じぶんのためたおとし あのうおこづかいで ものを
かおうとして あのう えーと ちょきんばこをわろうとしたんですが あの
そのときに あやまってガラスをわってしまいまして あのう けっかてき
には せっかくためたおこづかいで ガラスのしゅうりだいをはらわされるはめ
になりました(22秒61)

韓国語話者(26才 男性)

えー まいにち おかあさんからもらったこづかいを ちょっと ずっとちょ
きんしました それで あの これで うーん おもちゃのうりばにいて



ロボットや くるまや けんじゅうなど あの う～ん かお かおうかとおもって ずっと おかねをちょきんしたから いますごく う～ん よろこんでいます それが あの ちょきんばこを あの こわせなくては おかねとらないから こわそうとおもったんです そ そうなのに..あのう ハンマーで こわそうとおもったんだけど ぎゃくに カラスをこうしこわしちゃって けっきょく う～ん ちょきんしたおかねは じゃんぶ あの ガラスだいにはらっちゃって くやしいおもいであります (58秒08)

中国語話者 (21才 男性)

こどもが こぜに いっぱい たまった だ じぶんがおもちゃかおうとおもったけどあの これなんというかな ちょきんばこをこわすとき ぎゃくにまどのガラスをこわして しょうがなくて おかねをしゅうりだいにつかまっちゃったんですね (16秒29)

独語話者 (28才 男性)

へやのなかに あの おとこのこが あれなんというね ぎんこうぶたかな なんか.....じゃ そ...のかねのための ま ぶたがあって そのなか かねがいれてたんですけど それがどのくらいはいっているか ためしてて なんか いろいろ まあ かなり いっぱいと おもったんですね なんか そのなかに なにか かおうかという としてロボット じどうしゃ とか それで ハンマーもってきて それを なんか つぶしたいとおもいますね でもそれで なんか ハンマーを じゃない で うしろのほうにいて そのかわりに あの まどをつぶしてるんですね そのけっかで あたらしいまどのガラスかうひつようなんで その おかあさんが その まあ ぶたのかねを その まどのために あの たのんでるんでしょ (1分2秒32)

(お茶大日本言語文化専攻修士2年)